



## 2023年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月9日

上場会社名 株式会社システムサポート 上場取引所 東  
 コード番号 4396 URL <https://www.sts-inc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小清水 良次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森田 直幸 TEL 076-265-5151  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年6月期第1四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	4,404	18.4	304	26.4	309	24.3	205	26.8
2022年6月期第1四半期	3,721	13.5	241	19.3	248	21.8	162	19.4

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 209百万円 (29.2%) 2022年6月期第1四半期 162百万円 (19.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	19.89	19.85
2022年6月期第1四半期	15.69	15.65

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	7,569	3,496	46.2
2022年6月期	7,815	3,421	43.8

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 3,496百万円 2022年6月期 3,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	-	12.00	-	13.00	25.00
2023年6月期	-	-	-	-	-
2023年6月期（予想）	-	15.00	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,765	12.5	722	22.9	721	21.7	487	24.2	47.12
通期	18,093	11.7	1,456	21.7	1,452	22.0	982	25.1	94.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（注）特定子会社には該当しませんが、株式会社ブロックを当第1四半期連結会計期間より連結範囲から除外しております。

詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期1Q	10,380,000株	2022年6月期	10,380,000株
② 期末自己株式数	2023年6月期1Q	22,891株	2022年6月期	22,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期1Q	10,357,636株	2022年6月期1Q	10,351,336株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2022年11月9日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシアによるウクライナ侵攻及び原油をはじめとした物価の高騰、円安の急激な進行等の影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。一方で当社グループが属する情報サービス業界におきましては、EC市場の拡大を背景としたネット通販に関連したシステム基盤の構築や業務の効率化及び生産性向上等を目的とした投資需要は底堅く、またAIやIoT、クラウドサービスの利用領域の多様化等の流れは継続しております。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、システムの維持運用の効率化に向けたクラウドサービスやITシステム基盤等のクラウドサービス利用支援分野において新規及び既存顧客の受注、各種製品の販売に注力した結果、売上高は4,404百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は304百万円（同26.4%増）、経常利益は309百万円（同24.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は205百万円（同26.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高については、外部顧客への売上高を記載しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しております。そのため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### (クラウドインテグレーション事業)

システムの維持運用の効率化に向けたクラウドサービスやITシステム基盤等のクラウドサービス利用支援分野の受注が好調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,055百万円（前年同期比57.0%増）、セグメント利益は153百万円（同57.5%増）となりました。

#### (システムインテグレーション事業)

ERPパッケージ利用支援分野やデータベース等のインフラ構築関連が堅調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,703百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は57百万円（同20.9%減）となりました。

#### (アウトソーシング事業)

AI関連サービス等を含めたデータセンター業務について受注が好調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は448百万円（前年同期比18.2%増）、セグメント利益は51百万円（同11.8%増）となりました。

#### (プロダクト事業)

建て役者（建築業向け工事情報管理システム）及びSHIFT E（クラウド型シフト管理システム）等の販売が好調に推移した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は164百万円（前年同期比20.5%増）、セグメント利益は39百万円（同69.8%増）となりました。

#### (海外事業)

北米で展開しているシステムインテグレーションやアウトソーシング、メディア運営事業等については、当第1四半期連結累計期間における売上高は32百万円（前年同期比38.3%増）、セグメント利益は10百万円（同0.1%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ245百万円減少し、7,569百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が92百万円、有形固定資産が48百万円増加し、現金及び預金が405百万円減少したことによります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ320百万円減少し、4,073百万円となりました。これは主に流動負債の短期借入金が275百万円、賞与引当金が265百万円増加し、その他が673百万円、未払法人税等が211百万円減少したことによります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、3,496百万円となりました。これは主に利益剰余金が71百万円増加したことによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想については、2022年8月10日の「2023年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの事業への影響は、以下の仮定に基づき、2023年6月期の業績予想に織り込んでおります。

- 顧客業績等の状況次第では、IT投資予算の縮小やプロジェクトの延期等の発生による当社グループの業績への影響は見込まれるものの、当社グループは特定顧客への依存割合は低く、かつ、顧客の業種も幅広いため、当該影響は軽微である。
- 緊急事態宣言が発令されても、勤務については在宅や時差等を、商談・会議はオンライン会議を活用し事業の継続は可能である。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,254,220	2,848,783
受取手形、売掛金及び契約資産	2,700,261	2,792,474
商品及び製品	41,248	60,524
仕掛品	26,609	37,482
貯蔵品	2,807	2,874
その他	278,733	280,210
貸倒引当金	—	△1,057
流動資産合計	6,303,881	6,021,292
固定資産		
有形固定資産	307,195	355,629
無形固定資産		
のれん	199,800	192,490
その他	180,182	170,081
無形固定資産合計	379,983	362,571
投資その他の資産	824,244	830,143
固定資産合計	1,511,422	1,548,344
資産合計	7,815,303	7,569,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	520,771	572,592
短期借入金	825,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	78,209	69,067
リース債務	20,063	19,545
未払法人税等	332,826	121,329
賞与引当金	9,543	274,684
受注損失引当金	103	863
品質保証引当金	7,585	7,801
その他	1,892,307	1,218,792
流動負債合計	3,686,410	3,384,676
固定負債		
長期借入金	245,800	232,488
リース債務	40,601	35,897
役員退職慰労引当金	233,137	239,522
退職給付に係る負債	182,533	175,829
その他	5,320	4,877
固定負債合計	707,393	688,615
負債合計	4,393,803	4,073,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	723,323	723,323
資本剰余金	549,837	549,837
利益剰余金	2,203,584	2,274,931
自己株式	△18,655	△18,747
株主資本合計	3,458,091	3,529,345
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,255	8,152
退職給付に係る調整累計額	△42,846	△41,153
その他の包括利益累計額合計	△36,591	△33,000
純資産合計	3,421,500	3,496,345
負債純資産合計	7,815,303	7,569,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,721,112	4,404,175
売上原価	2,752,650	3,218,787
売上総利益	968,462	1,185,387
販売費及び一般管理費	727,283	880,610
営業利益	241,178	304,777
営業外収益		
受取利息	9	15
受取手数料	194	5,010
助成金収入	10,070	2,152
保険配当金	1,480	972
その他	1,986	1,075
営業外収益合計	13,741	9,226
営業外費用		
支払利息	3,714	4,416
為替差損	2,466	132
その他	1	254
営業外費用合計	6,182	4,802
経常利益	248,738	309,200
税金等調整前四半期純利益	248,738	309,200
法人税等	86,294	103,201
四半期純利益	162,443	205,999
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,443	205,999

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	162,443	205,999
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△751	1,897
退職給付に係る調整額	562	1,693
その他の包括利益合計	△189	3,591
四半期包括利益	162,254	209,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,254	209,590

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社である株式会社アクロスソリューションズを吸収合併存続会社、株式会社アクロスソリューションズの子会社であった株式会社ブロックを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、株式会社ブロックを連結の範囲から除外しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	クラウドイ ンテグレー ション	システムイ ンテグレー ション	アウトソ ーシング	プロダクト	海外	計		
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	56,249	447,436	28,667	42,357	—	574,711	—	574,711
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	616,228	2,061,873	350,740	94,121	23,437	3,146,401	—	3,146,401
顧客との契約から生 じる収益	672,478	2,509,309	379,407	136,478	23,437	3,721,112	—	3,721,112
外部顧客への 売上高	672,478	2,509,309	379,407	136,478	23,437	3,721,112	—	3,721,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,731	13,972	1,453	8,840	25,997	△25,997	—
計	672,478	2,511,041	393,380	137,932	32,278	3,747,110	△25,997	3,721,112
セグメント利益	97,596	72,170	46,284	23,536	10,955	250,543	△9,365	241,178

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	クラウドイ ンテグレー ション	システムイ ンテグレー ション	アウトソ ーシング	プロダクト	海外	計		
売上高								
一時点で移転される 財又はサービス	107,665	470,715	28,620	29,201	—	636,202	—	636,202
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	948,287	2,232,394	419,650	135,236	32,403	3,767,972	—	3,767,972
顧客との契約から生 じる収益	1,055,952	2,703,110	448,270	164,437	32,403	4,404,175	—	4,404,175
外部顧客への 売上高	1,055,952	2,703,110	448,270	164,437	32,403	4,404,175	—	4,404,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	154	1,633	12,000	1,332	9,564	24,684	△24,684	—
計	1,056,106	2,704,743	460,270	165,770	41,967	4,428,859	△24,684	4,404,175
セグメント利益	153,696	57,058	51,750	39,968	10,945	313,419	△8,642	304,777

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2023年6月期を初年度とする中期経営計画において、中期的に注力する事業とその進捗を明確にするためセグメントを見直したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「クラウドインテグレーション事業」「システムインテグレーション事業」「アウトソーシング事業」「プロダクト事業」「海外事業」の5つに区分して報告しております。従来の区分からの主な変更点として、従来の「ソリューション事業」を、クラウドインテグレーション分野の「クラウドインテグレーション事業」と、ERPパッケージ関連やインフラ構築、ITシステム開発等の「システムインテグレーション事業」に分割しました。また従来「アウトソーシング事業」に含んでいたシステム運用保守の一部を「システムインテグレーション事業」に移管したほか、海外で実施する各種サービスやメディア運営を新たに「海外事業」として区分しました。

加えて、「販売費及び一般管理費」については、従来は各報告セグメントに配賦しておりませんでした。今後の事業成長を加速させるための経営管理・意思決定に基づく戦略的経費としての側面を重視し、中期経営計画の進捗をより適正に開示・報告することを目的として、各報告セグメントへ配賦する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。